

ICCAE



news
No.5 2001.10.1

名古屋大学 農学国際教育協力研究センター ニュース

平成13年10月1日発行 第3巻 2号(年2回発行;通巻5号)

発行/〒464-8601 名古屋市千種区不老町

TEL 052-789-4225(受付) FAX 052-789-4222

<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~iccae/index-j.html>

e-mail:iccae@nuagrl.agr.nagoya-u.ac.jp

カンボジア王立農業大学・大学院 (RUA)の教育強化とICCAE

ICCAEは設立以来、カンボジア王立農業大学(RUA)と協力してRUAの教育強化の研究に取り組んでいる。2000年には、前号で報告したように、RUA学長補佐ヴィサルソック・タッチ氏を客員教授(I種)として招聘し、カリキュラムの共同研究に基づいて、国際基準に適合するように7項目の改善提案を行なった。これらの提案は、2001年度カリキュラムに導入された。カリキュラム改革は、カンボジア内の他の3大学1研究院にとっても急務であったが、なかなか具体化が出来ず、進展が見られなかったものである。これには国際機関の姿勢の問題があり、FAOを始めとする国際機関から1992年、1996年、1999年にカリキュラム改善が提言されたが、事実上、問題指摘のみの報告書が作成されただけで終り、これらの機関による具体的な改革や、実行は行なわれなかった。RUAは教育改革一

番手ということで、所轄官庁(農水省)のみならず文部省からも、他教育機関への先導役としての期待が寄せられている。

ICCAEは、RUAが作成した農学教育強化のマスタープランを確実に実現化するために、年度毎の具体的な達成目標を立てるなど必要な助言を行なっている。カンボジアにはRUAの他に2つの農業カレッジがあるが、これら農学教育機関に勤める209名(2000年現在)の教官のうちで、博士、修士号取得者は、9名、19名に過ぎない。2005年までには少なくとも50%の教官を修士号取得、ないしは同等の能力を有するレベルにするために、具体的な計画を立てる必要がある。その一環として香川大学・早川茂教授には、2001年10月、博士課程にRUAから1名を国費留学生として採用していただいた。

RUAはマスタープランに従い、2001年9月にカンボジアの大学として初の大学院修士課程を開設した。RUAに修士課程を開設する能力があるかどうかは、議論の余地があるが、カンボジア国家の威信がかかっており、ICCAEとしては、出来る限り修士課程にふさわしい制度と内容の構築に協力することが、現実にとり得る最善の道と判断した。ICCAEでは本年12月より3ヶ月間、ンゴブタンRUA大学院初代院長を客員教授(Ⅲ種)として招聘し、日本を含む世界の大学院教育のあり方を共同研究し、RUAの大学院づくりに貢献したいと考えている。



写真：RUA卒業式に臨席した農水大臣
夫妻(中央前列)



写真：卒業生を見送るRUA在校生代表の女子学生